

じぶんで できるよ！

ひかりのくに

5領域
10の姿
との関わり

人
環
言
3
4
7
9

今日の活動のねらい

- ★秋の空の様子に関心を持つ
- ★空を見上げる楽しさを味わう

活動時間
20分

タイミング
室内遊び、
戸外遊びの前

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 9月号
p.12-13

写真で見つけた！
あきの そらを みあげよう



活動の内容と流れ

絵本を読み、秋の空への関心を高める

- 今の空はどんな色かなど空の様子を気かけながら読む
- 秋の空の変化に美しさを感じ、友達と想いを共有する
- 穴あきのカードで額縁やメガネを用意し、実際に空を見上げて観察を楽しむ
- 秋の空の絵を描く



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
こまめに空を観察し、秋らしい雲が出ているときに活動を始められるようにする

○
さまざまな技法で秋の空を描けるように準備しておく



◆
絵本に載っている以外にもさまざまな秋の空の写真を準備し、掲示する

○
空を見上げる前に、太陽は直接見ないという約束をする

活動後、振り返りのポイント

- ★発見や変化を楽しむことができたか
- ★友達に伝えたり、話したりして共有することができたか

今日の活動のねらい

★地震が起きた際の身の守り方を知る

★防災への意識を高める

活動時間

20分

タイミング

避難訓練の
前や後

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 9月号
p.20～27

楽しい生活♪

じしんの ときの

おやくそくの じゅつ



活動の内容と流れ

地震についての話や避難訓練についての話を聞く

ひかりのくにを読み、身の守り方を学ぶ

→いつ、どこで地震が起こるかわからないことを伝える

→先生が「地震だ」と言ったら、すぐにダンゴムシポーズを

して頭を守るゲームをする。数回繰り返したら、正しい

ポーズができているか確認し、ダンゴムシチャンピオンを

決めて、上手なポーズの見本とする

→避難訓練で絵本の内容を思い出して実践する



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
災害時の減災を目指して安心
できる環境で、体験を通して
学べるように工夫する

◆
危ないところと安全な
ところを事前に確認し、
他の職員にも共有する

○
怖がる子どもには無理を
させず、寄り添って安心
できるように気を配る

○
部屋にあるものや場所
で頭を守られるもの・場所
があるかどうか話し合う



活動後、振り返りのポイント

★子どもたちが自主的に参加していたか

★絵本で学んだことを活かそうとしていたか

★話し合っていたことを取り入れようとしていたか

今日の活動のねらい

- ★敬老の日に親しみを持つ
- ★身近なおじいちゃんやおばあちゃんに
思いを馳せる

活動時間

20分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 9月号
p.2~11

お話なあに？

おじいちゃんの はなし



活動の内容と流れ

絵本を読み、敬老の日に興味・関心を持つ

「おじいちゃんの はなし」を読む

→けんたとおじいちゃん表情が読み取れるよう

言葉をかける

→近所や自分たちのおじいちゃん、おばあちゃんの

ことを思い出して話し合う

・敬老の日の制作遊びをする



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
敬老の絵本を他にも用意しておき、
おじいちゃんやおばあちゃんを大切
に思う気持ちが育めるようにする

○
まずは保育者が自分のおじいちゃん
やおばあちゃんのことを伝え、話し
やすい雰囲気を作る



◆
近所や自分たちのおじいちゃんや
おばあちゃんについて話し合い、
敬老の日の制作遊びの導入につな
げる

○
本棚に何冊かお手玉など、伝承
遊びに関する絵本を置いておき、
子どもたちがいつでも読めるよ
うにしておく

活動後、振り返りのポイント

- ★お年寄りに興味・関心を持っていたか
- ★敬老の日に親しみを持てたか

今日の活動のねらい

- ★お米について知り、興味を持つ
- ★米（ごはん）を食べたいという意欲につなげる

活動時間

20分

タイミング

昼食前

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 9月号
p.14～19

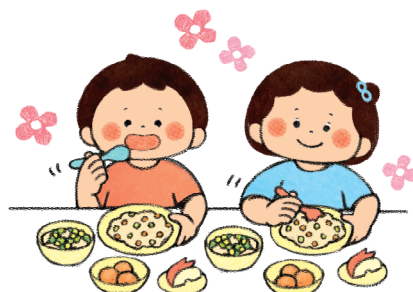
わくわく食育！
おいしい おこめを どうぞ！



活動の内容と流れ

絵本を読んで、お米について知り、興味を持つ

- ひかりのくにを読んで、ごはん屋さんになりきる
- お米をよそったり好きなどんぶりを選んだり、シール遊びを楽しんだり、自分や友達はどれが食べたいか話し合う
- お米についての絵本や図鑑、紙芝居などを見たり、給食室の見学に行ったりする
- 食の大切さに気付き、昼食のお米を一粒も残さずに食べる
- 廃材を使っておにぎりを作る遊びをする



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
稲や炊く前のお米を準備し、子どもたちが触れられるようにする

○
昼食のときに、ごはんを実際に見て「絵本と同じだね」などの声をかけるようにする



◆
田植えや稲刈り、お米がごはんになるまでについても説明できるように準備しておく

○
「おいしいおにぎりができたね」「お米がおいしそうだね」など、お米に対する前向きな声をかけ、おにぎりはクラスで飾っておく

活動後、振り返りのポイント

- ★お米について知り、大切に食べようとする姿につながったか
- ★友達の発表をしっかりと聞いていたか

今日の活動のねらい

- ★保育者や友達とともに体を動かすことを楽しむ
- ★様々な動きに親しみ、身体感覚を育む

活動時間

15分

タイミング
朝の活動後

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 9月号
p.28-29

まねっこヨーガ
ふわっと てを あげ
すすきに なろう！



活動の内容と流れ

写真や絵を見て体を動かす

- ひかりのくにをよく見て、ススキになりきる
- 図鑑や写真でススキを観察する
- まねっこヨーガのページ（p28-29）を見て、
保育者と横に並んで背筋を伸ばしてしっかり立つ
手を挙げてススキのポーズをとる
- ♪つきの歌を歌いながら、手首を誰かに引っ張って
もらっているように気持ちよく伸ばす
- 歌に合わせて挙げた方の足を踏ん張って体を少し横に傾けるようにポーズをとる



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
まわりに危険なものがないか配慮し、子ども同士が心地よく空間を共有できるようにする

◆
ススキが載っている
写真や図鑑を用意する

○
イラストやイメージのようなススキになりきり、保育者や友達と一緒に自由な表現を楽しめるようにする



○
一人ひとりの多様な動きや表現方法を認めながら、のびのびと繰り返しを楽しむ中で、体の重みを感じられるようにする

活動後、振り返りのポイント

- ★ポーズをつかって、動きを楽しむことができたか
- ★手や足を意識し、様々な体の感覚に気が付くことができたか
- ★一人ひとりの発達に応じた想像、模倣、創造を賞賛してきたか
- ★友達と共有の場に親しむことができたか